

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	目指せ防災力向上！ 【事業費予算900千円】
事業目的・概要	地域の防災活動に対する若い世代からの理解不足が、各地域の課題のひとつとなっている。 子どもと一緒に参加して、防災について触れて、体験して、遊びながら楽しめる事業を通じて、今まで関心の薄かった世代に対し、啓発を行い、地域とつながるきっかけとなることを狙う。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	【親子でわくわく！あそんでまなぼうさい!! in 北区】 日時：令和3年11月3日(水・祝) 午前10時、10時半、11時、11時半、午後1時、1時半 場所：菱風荘(北区前新田乙364-1) 内容：ジャッキアップゲーム、防災カードゲーム、オリジナル防災グッズづくり、水消火器的あてゲーム、パッククッキング体験コーナー 対象：中学生以下の親子(各会期4組) 広報：区だより、市LINE、学校、児童施設など公共施設にポスター掲示 参加者：17組49名(事前申込と当日参加)
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	○当事業を通じて、今まで防災に関心の薄かった若い世代を中心に、防災の基礎知識やコロナ禍における防災などの啓発が実現できた。 ○企画立案及び事業の実施については、部会委員からの積極的な意見の発信や、事前研修などを通じて、イベント運営について主体的な取り組んでいたことから、自治協議会提案事業として望ましい形であった。 ○アンケートを実施した結果、概ね好評であり、事業目的に沿った効果があった。(以下抜粋) ・初めての参加で知らないことばかりでした。消火器もジャッキも触ったことがなかった。 ・親子で防災について学ぶことができ、子どもも非常に喜んでいて、参加して良かったです。 ・どのコーナーもとても勉強になりました。日頃から使えるものばかりなので、子どもと一緒にやってみようと思いました。 ・とても楽しく参加することができました。もっとたくさんの人に知ってほしいなと思います。 ・防災の意識が高まったのでよかったですと思います。 ・消火器が楽しかった。またやってほしい。 ○事業報告を兼ねたPRチラシを作成し、地域団体等に配布することで、遊びながら誰でも楽しく学べる新しい防災訓練として地域に提案し、当事業での取り組みを区内に波及させていく。 ○当事業のパネル展を開催し、区民に広く取り組みをPRすることで、防災意識の啓発を図る。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	「あったか言葉」っていいね 【事業費予算 900千円】
事業目的・概要	【目的】 誰かにかけてたい言葉、自分がかけられたい言葉について考える機会を幅広い世代に提供することで、いじめや虐待の防止、引きこもり対策につなげるとともに、思いやり、支え合える関係づくり、地域づくりの大切さを広める。 【概要】 家族へ、友だちへ、恋人へ、地域の人へなど様々な対象に対する、思いやりのある言葉、「あったか言葉」が北区に広がっていくよう、幅広い世代に募集する。また、その言葉をSNSや区役所だより、公共施設での掲示など、様々な方法で発信、啓発していく。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	募集チラシを作成し区内小中学校に配布。そのほか区内公共施設に設置。8月1日号北区役所だよりに掲載。 270件応募あり。10月の部会で審査、14作品を入賞とした。 ほっこり賞(10代部門)10作品、ぬくぬく賞(20～50代部門)2作品、ほかほか賞(60代以上部門)2作品。 12月23日(木)自治協議会終了後、表彰式を行い賞状と副賞を副部長が進呈した。式の様子を1月16日号の北区役所だよりに掲載。また、受賞者から書いてもらったパネル展示を行った。 ○北区役所交流スペース 12月21日～1月10日 ○北地区スポーツセンター 1月18日～2月21日 受賞作品を、シールにして区役所封筒、福祉施設の製品に貼り付けPRに努めた。 ○福祉施設用シール14000枚
事業の評価 (地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効性・ 効率性の評価など)	6歳から80代までの幅広い世代から応募があり、この機会に、言葉をかけあい、支えあえる関係性の大切さについて考えていただくことができた。区役所の封筒に「自治協議会」と示すことで、自治協議会の名前を知ってもらう事ができた。 福祉施設の製品に貼って販売してもらう事で、「あったか言葉」の浸透、自治協議会活動の周知、販売促進につなげた。 パネル展を行ったことで、また違った層に見てもらえる事ができ、「あったか言葉」の浸透、自治協議会活動の周知につなげた。 【いただいたご意見など】 ○素晴らしい企画に感謝申し上げます。 ○「あったか言葉」がこどもたちの心にひびくといいですね。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	北区 自然の魅力発信事業 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	北区には水辺環境をはじめ、花や野鳥など自然の魅力が豊富であるとともに、それらに関する取り組みが盛んにおこなわれている。その一方で、それらの魅力が区内外の人に十分に伝わっていない。北区の自然の魅力を見つめ直すとともに、区内外へ広く発信することで愛着の醸成を図る。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>① 福島潟の魅力PR動画（冬～春編）の制作（豊栄高等学校の生徒との協働制作） 【コンセプト】 訪れたいくなる福島潟 【公開方法】 YouTube内「新潟シティチャンネル」 ※昨年度制作した動画（夏～秋編）とあわせてDVD化し、区内の小・中・高・大学をはじめ市立図書館や区内公共施設等に配布した。</p> <p>② 北区の魅力再発見！フォトコンテストを実施 【募集テーマ】 北区の隠れた魅力（景色、食べ物、祭り、地域行事など） 【応募方法】 インスタグラムで「#新潟市北区2021」「#キタク魅力」の2つのハッシュタグと、被写体のタイトルと撮影場所、魅力を伝える説明を添えて、写真を投稿 【募集期間】 9月1日～11月30日 【賞の選定】 委員の投票により優秀賞3点、入選10点を選定し市のHPやインスタグラムで紹介。 【応募作品の活用】 ・応募作品で令和4年度カレンダーを作成し、PR動画配布先等に配布した。 ・3月中旬～下旬に、北区役所1階交流スペースで入賞作品展を開催した。 ・応募写真は区の魅力PRに広く活用予定。</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>① 福島潟の魅力PR動画（冬～春編）の制作 高校生が撮影・編集などを担当し、若い世代の視点で福島潟をPRすることができた。令和3年11月14日にビュー福島潟で開催されたイベント「遠藤麻理と福島潟の妖怪たち」の冒頭で、動画のお披露目イベントを行ったほか、YouTube内の「新潟シティチャンネル」で動画を公開し、福島潟の魅力を区内外に広く広報することができた。</p> <p>② 北区の魅力再発見！フォトコンテスト インスタグラム内において、41名・197件の投稿があった。インスタグラムを活用したことで、受賞作品以外の投稿についても幅広い人の目に触れることとなり、北区の魅力を広く発信することにつながった。 募集テーマを「地域の隠れた魅力」としたことで、普段フォーカスされないような場所などを撮影した投稿も多く見られ、北区の身近な魅力について見つめ直す良いきっかけづくりになったのではないかとと思われる。</p>
備考	